

令和 3 年度 (2021) 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：惑星物質科学のフロンティア 英文：Frontier of the planetary material science
研究代表者	馬上 謙一
参加研究者	大澤 崇人 (JAEA), 村上 登志夫 (学習院大), 早川 岳人 (QST), 丸岡 照幸 (筑波大), 小長谷 智哉 (東京大), 柴田 裕美 (大阪大), 飯塚 毅 (東大), 松本 徹 (京都大), 大槻 悠太 (北大)
研究成果概要	<p>2022年3月4日 10:00 AM より, オンライン (ZOOM) にて研究会を開催した. ひとり, 40 分の持ち時間での発表および質疑応答を行った. 下記に研究会の詳細を示す.</p> <p>10:00-10:10 はじめに (世話人代表: 馬上)</p> <p>10:10-10:50 馬上 謙一 (北海道大学) 多重飛行時間型質量分析計に搭載する誘導電荷検出器の開発とその性能</p> <p>10:50-11:30 小長谷 智哉 (東京大学) レゴリス角礫岩質隕石に記録された過去の太陽風フラックス</p> <p>11:30-12:10 大槻 悠太 (北海道大学) 同位体ナノスコープによる月粒子の希ガス深さ方向分析</p> <p>13:20-14:00 松本 徹 (京都大学) 小天体表面における太陽風照射に伴う結晶成長</p> <p>14:00-14:40 早川 岳人 (量子科学技術研究開発機構) 長寿命放射性同位体 ^{176}Lu の半減期</p> <p>14:40-15:20 大澤 崇人 (原子力研究開発機構) ミュオン特性 X 線分析を用いたリュウグウ試料分析への挑戦</p> <p>15:20-15:30 ビジネスミーティング</p>
整理番号	I05